

# 学習プログラム開発をしよう

(C) グループ メンバー (下川 花浦 浜田 長直 石田)

テーマ **青少年教育**

市の概要  
**A**

個人の要望

- ・子どもの居場所がない
- ・体験活動がしたい
- ・友達になりたい

社会の要請

- ・家庭・地域・学校等の連携
- ・体験・学習場の提供
- ・地域の行事が多い

地域課題

子どもの居場所がない  
家庭・地域・学校の連携が必要

学習目的

子どもの居場所をつくり、家庭・地域・学校等の連携を図りながら、地域ぐるみで健やかな青少年の育成に取り組む。

学習目標

様々な体験活動を通して、子どもたちが自主的に考え活動できる力を養い、地域への郷土愛をほぐくむ。

## 【学習プログラムを開発しよう!】

(C) グループ メンバー (下山さん、松浦さん、英田さん、長道さん、石田さん)

## 1 学習目的

子どもの居場所をつくり、家庭、地域、学校等の連携を図りながら、地域ぐるみで健やかな青少年の育成に取り組む。

## 2 学習目標

- 様々な体験活動を通して、子どもたちが自立的な活動で力を養い、地域の郷土愛をほぐくむ。
- 子どもたちが、野外活動を通じて、活動内容を計画し、それを実践するにおいて、自覚や企画運営能力を高める。
- 危険な刃物の安全で正しい使い方を習得することにより、日常生活において役立てる。

## 3 プログラム名

初めて体験～in キャンプ

## 4 対象・定員

小学生とその保護者 20組

## 5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

1人 2000円 (キャンプ場代・保険・食料・材料)

## 6 事前に必要な知識や準備物

地域の高齢者・キャンプの資料 (火のかけ方・服装など)

ナイフで切れる、軍手

## 7 留意点

安全管理

C711-70

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
1回目 7月の 土曜) (全2回)	キャンプ 計画と 準備	◎子どもの会 ・自己紹介 ・オリエンテーション ・9食決め ・工作決め ----- 親子の会 ・自己紹介 ・「しおり」の完成	地域の人 (高齢者)	公民館	「しおり」の 発表
2回目 8月 土曜日 AM	キャンプ 準備と 準備	◎ 予算内で買い物 必要な物をそろえる	"	地域全体	
3回目 8月 土曜日 PM 日曜日	キャンプ 体験と 準備	◎初めてのキャンプ体験と 安全に行う。 ・フラグ・飯盒などの料理 ・テントでの宿泊体験など 「しおり」にそって進める。	"	キャンプ場	円にのって 一言ずつ。  4回目まで感想文を 書いてこ
4回目 8月 最終週	キャンプ 振り返り	◎キャンプ体験の反省・振り返り ・フラグの展示会 ・キャンプの時の写真の展示 ↓ ↓	"	公民館	反省会で感想文 を発表し 振り返り。 親、地域の人から 言われる。

↓  
↓  
口ビ展示  
(フラグ・写真・感想文)

【各回の実施計画を立ててみよう!】

(C) グループ メンバー (下山さん、松浦さん、浜田さん、長迫さん、石田さん)

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

キャンプの計画を立てよう! part1 ~子どもの会~

○学習目標

自ら企画し、計画通りにより自主性を養う。

2 回・日時・場所

○回・日時

第1回

7月○日(土) 10時 00分~ 12時 00分

○場所

公民館会議室

3 講師; 指導者, 支援者

地域の人(高齢者)

4 準備物

○参加者

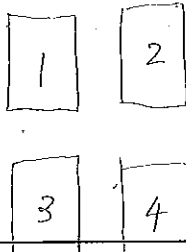
筆記用具

○主催者

模造紙, ポストイット, マジック, 養生テープ, (各1冊) しおりのひな型(しおりの原稿)

5 会場図

前



・5組×4グループ

・学年縦割り

・グループリーダーを決めておく(高学年の中から)

6 実施計画

時刻	内容	留意点
9:30	○受付 (会議室前)	・案内板, 長机, 名簿 ・各机に模造紙, ホストシート, マジックを置く ・受付職員 1名 ・地域の人 (高齢者) 4名
10:00	○オリエンテーション ・自己紹介, アイスブレイク ・グループ分けの発表 (系統割り) ・キャンプの目標, 日程について	・司会: 説明職員 1名
10:30	○グループワーク ・夕食決め ・工作決め	・模造紙にホストシートを貼る ・地域の人 1名
11:30	○まとめと発表 ・グループ代表が意見をまとめ, 発表する	今回は子どもの意見のみで, part 2で親も加わり, 「しおり」を完成させる。